問 保育園整備計画について
答 重要な課題であり丁寧に説明する

岩瀬 計介 議員

重要な課題であり慎重なる審査をお願いする

問 竜宮保育園のあり方に関する討議資料作成までの経緯は。

答 町長 平成22年度に策定した「保育園等基本計画」において、統合の基準「入園児数が60人を継続して下回ることが見込まれる園」と示されて以降、本議会においても「竜宮保育園のあり方」については、幾度もご質問をいただき、議論を重ねてきた。

平成29年度の3歳児の入園児数にあっては、9人となっており、平成28年度策定の「公共施設等総合管理計画」においても「園児が減少傾向にあることを踏まえた、効率的な整備・統合をすすめること」とする、今後の方針が示された。

保育所運営における重要な課題であり、保育所運営審議会に諮問をし、慎重なる審議をお願いする中、9月中旬に答申をいただくことになっている。

住所地によっての保育園区もない

問 早朝・延長保育など入園児が60人を切らない努力はされたのか。

答 健康福祉部長 保護者が町内のどの保育園を選択されても、武豊町の質の高い保育を園児が等しく享受できる努力を継続してきた。

■武豊町立竜宮保育園

問 コミュバスの無料期間延長を
答 現時点では考えていない

福本 貴久 議員

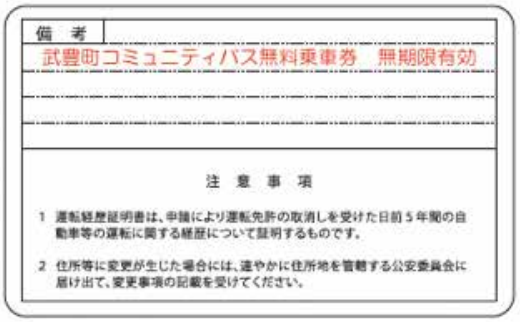
公平性の課題あり

問 運転免許証の自主返納を促進し、高齢者ドライバーが引き起こす交通事故防止の一環として、65歳以上の方が運転免許証を自主返納した場合、無料利用制度の期間延長、または無期限利用可能とする検討を進めてはどうか。

65歳以上の運転免許証自主返納者は、2年間コミュニティバスを無料で乗車できる。そこで、高齢者が起こす交通事故発生を抑止するための方策として質問をする。

答 総務部長 無料利用制度の期間延長や無期限利用については、高齢者の中で免許を持っていない方との公平性の面で課題があり、現時点では考えていない。

※他に「観光について」の質問。



久野 勇 議員

問 小中学校生活の環境整備のために

答 学校・家庭・地域・行政の連携

役割と施策は

問 学校・家庭・地域・行政それぞれの役割は何だと考え施策を進めているか。

答 町長 家庭はすべての教育の出発点、地域は社会性を学ぶ大切な場、学校は生きる力を育てる機能を持つ場であり、行政はそれぞれの役割を果たせるようサポートしていく。

問 地域で元気なシニアの活用、教育力再生とはどの様な施策か。

答 町長 地域の方の協力のもと実施されている家庭教育推進事業、おじいさんのアウトドア、壱町田湿地の保全活動、ゆめたろう塾などに活躍いただいている。

問 夏期の暑さに対し、学校での空調機設置の必要はないか。

答 教育部長 暑さのせいで生徒の健康に重大な影響があったとの報告はないが、いずれ設置しなければならない時期がくると考えている。

いじめ・不登校

問 本町にあった取り組みは。

答 教育部長 人間関係づくりを大切にし、いじめアンケートや教育相談を実施する。SNSを用いた相談活動は今後の動向を注視していく。

※他に「学校教育の充実としてICTに対する今後の対応について」の質問。

■武豊町立富貴中学校校舎

冨永 良一 議員

問 交通安全対策の取り組みは

答 危険箇所はPDCAサイクルで改善

交通安全対策

問 区などの防災パトロールで、設置要望のあったカーブミラーについては一部で、条件があり設置困難とのことだが、原因は。

答 防災交通課長補佐 ある一定の基準で、前回漏れていたため、再度調査していく。

■改善要望のある交差点

通学路の安全確保を

問 通学路の点検頻度は。

答 教育部長 保護者や児童生徒から危険箇所の報告を受け随時現場確認し、対応している。

問 平井四丁目の変則交差点について、区、PTA、保護者、学校、交通ボランティア団体から改善要望が出されている。進捗状況は。

答 防災交通課長 平井交差点については、スピード抑制のため、路面をカラー舗装にし、歩道にポールを設置して、歩行者にも注意喚起を進めていく。

問 武豊町の交通安全施策について
答 多面的・広域的に施策を実施する

森田 義弘 議員

飲酒運転の根絶

問 町としてはどのような啓発活動・対策をしているのか。

答 町長 今年上半期の検挙者が県下ワースト2位を受け「飲酒運転非常事態宣言」を発し、「知多半島からなくそう！飲酒運転」を合言葉に近隣市町と対策を実施していく。

問 近隣自治体との協力した対策とは。

答 総務部長 1市5町で東知多交通安全推進連絡協議会を組織し交通事故の抑制を広域的に推進している。

問 具体的な取り組みは。

答 総務部長 お酒を飲まない人を決めるハンドルキーパー運動の推進や運転代行サービス等の利用促進など、地域ぐるみの運動を推進している。

問 今後の対応は。

答 総務部長 飲酒運転は許されない犯罪で人々に悲劇をもたらすことを、住民の皆さまの意識に浸透させるような啓発活動を考え、行なっていきたい。

交通弱者への対応

問 交通弱者への事故防止活動は。

答 総務部長 高齢者の運転免許証の自主返納制度の推進。保育園では親子歩行訓練・小学校では自転車訓練を実施することで交通ルールや安全に対する意識向上を図る。

■武豊町1000日間連続交通死亡事故ゼロ

問 アサリ池の水質改善を
答 浄化方法を調査研究していく

大岩 保 議員

親水公園の状況は

問 親水公園の現状をどう考えているか。

答 町長 町内の親水公園は、全体的に施設の老朽化が目立ってきている。貴重な景観資源であり、ため池機能・治水機能・親水空間をバランスよく保ちながら、今後も憩いの場として親しめるよう、計画的に修繕や改修を行なっていく。

アサリ池の水質改善について

問 アサリ池のフナが死んでいる原因は。

答 生活経済部長 県環境保全課による簡易水質検査では水温も高く、水中の溶存酸素が低かったことから、酸欠が原因と思われる。アサリ池は、水の流入が無く、少雨や猛暑による水温上昇などの条件が重なると一時的に今回のように酸欠となることがある。

問 2基ある噴水の稼働状況は。

答 建設部長 平成24年に1基が故障、平成27年にもう1基が故障した。修理などの検討をしたが、老朽化によるものであり、修理による復旧は難しいと判断し、現在は稼働していない。

問 親水公園であるアサリ池の状況をどう考えるか。

答 町長 町の親水公園として整備した公園であるので、何らかの手を打たねばならないと考える。噴水を始め酸素が供給できる装置など、費用面も含めて調査・研究していく。

■水質改善が必要なアサリ池

青木 宏和 議員

問「感震ブレーカー」設置に補助を
答 できるだけ早く補助を行う

火災発生時、消火器で対応

問 火災発生時、住民や自主防災会にどのような対応をお願いするのか。

答 総務部長 消火器（44本）による初期消火と、延焼に備え住民の避難を促していただきたい。

感震ブレーカーで出火防止

問 通電火災対策として、「感震ブレーカー」の設置に補助を行う考えは。

答 総務部長 できるだけ早く「感震ブレーカー」の設置に補助を行う。

医療救護体制を整備

問 災害時、負傷者や病人への対応は。

答 健康福祉部長 外科的な対応が可能な4医療機関を医療救護所とし、この医療救護所以外の医師には、応急救護所となる保健センターにて、トリアージや応急処置を行っていただく。

また、災害連携病院として2医療機関に、中等症以上の患者の対応をしていただく。

災害連携病院
杉石病院
石川病院

医療機関救護所
榊原整形外科
ちゅうや整形外科
すこやかクリニック
内科・外科　渡辺医院

応急救護所
保健センター

■応急救護所となる保健センター

石原 壽朗 議員

問 子ども貧困対策の更なる推進を
答「ゆめたろう塾」の拡充を検討

愛知県が昨年末、経済困窮家庭の実態や課題を把握し、子どもの貧困対策を検討するため「愛知子ども調査」を実施した。

問 愛知県は子どもの貧困率が低いとはいえ「ゼロ」ではない。地域にあった具体的施策が必要では。

答 町長 義務教育の円滑な実施に向け、新入学費、学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費の経費について、一部を補助する就学援助費を支給している。これまで学期ごとにまとめて支給してきたが、必要な時期に支給できるよう準備を進める。

問 昨年より学習の機会を提供する「ゆめたろう塾」を開催しているが、現状の課題と対策は。

答 教育部長 中学生を対象に月2回、学習支援員のサポートで実施している。町民会館に加え、中央公民館での開催希望があり、学習支援員の増員や会議室の問題、今後は、小学生まで対象拡大することも検討していく必要がある。

■ゆめたろう塾の様子

問 想定外豪雨に対する具体的施策は
答 中山新池を調整池として整備

本村 強 議員

雨水排水抑制

問 想定外の豪雨に対する基本的な考え方は。

答 建設部長 ため池や雨水調整池を活用し、雨水を貯留したり、ゆっくり流出させる雨水流出抑制の取り組みを、今後も継続する。

問 具体的な計画は。

答 建設部長 中山新池を調整機能を持った池として、整備する計画がある。

問 同報無線の屋内子局のコンセントを、うるさいからと、抜いている方がいる。万が一に備えて、再度徹底していく必要があると思うが、どうか。

答 防災交通課長 広報の防災特集に掲載していく。

問 避難勧告などの判断・伝達マニュアルによる発令のタイミングは、遅すぎるのではないか。

答 総務部長 マニュアルにより気象情報や降雨の状況などを総合的に判断し、避難者の安全を第一に考えていく。

問 透水性舗装などの雨水貯留浸透施設に対する補助で、住民の意識向上を図ることが大事ではないか。

答 町長 武豊町に何が適切か検討し、補助金については、今後研究する。

■大府市の補助対象の基準

問 減免制度改定に町民意見の反映は
答 必要だと考える

櫻井 雅美 議員

貸館機能のある公共施設の利用率向上

問 インターネット予約サイトでは施設の特徴や異なる施設の利用状況の比較がしにくいがその対策は。

答 教育部長 最終的にはホテル利用状況のサイトのように、公の施設がまとめてポータルサイトで見られるような形が一番良いと思っている。

問 利用率は市民活動や町民の意識の程度を図ることができる。職員の目的意識統一のためにも利用率について指標目標を設けてはどうか。

答 町長 指標をもって管理をすることについては一度検討したい。

問 減免制度の見直しに当たって、画一的な統一ではなく、目的に見合った制度の見直しが必要と思われるが、一般の方の意見を取り入れる予定はあるか。

答 副町長 プロジェクトなど考えながら進めるが、一般の方の意見も必要だと考える。

問 指定管理の公共施設について事業報告はどのように公表されるか。

答 副町長 補助金、委託、指定管理先の報告については監査委員からも中身の精査について指摘を受けている。見にくい、わかりにくい報告書には今後も指導をしていきたい。

■地域交流センター体験工房

梶田 進 議員

問 二酸化炭素削減で温暖化対策を
答 事業者全体で対応している

地球温暖化対策の法的拘束力を持つ国際的枠組を決めた「パリ協定」が合意され、二酸化炭素を多く発生させる石炭火力発電所の建設について「是認」できないという環境相の意見が出された。

中部電力武豊火力発電所「5号機リプレース」の二酸化炭素削減問題についてただした。

二酸化炭素削減は

問 2~4号機を廃止して、5号機をリプレースすることで、二酸化炭素が約20%増加するといわれている。二酸化炭素削減に逆行する試算があるが、どのようにみられるか。

答 生活経済部長 当初計画になかったバイオマスの混焼が追加され、1キロワット時の電気を発電した時の二酸化炭素排出量はほぼ同程度になる。

二酸化炭素は増加する

問 現在の武豊火力発電所の稼働率は約45%である。この稼働率でみると、二酸化炭素は約200万トン増加することになるが。

答 生活経済部長 経産相の勧告では、「事業者全体で…更なる二酸化炭素排出削減を実現する見通しをもって計画的に実施すること。」としている。

削減の道筋を

問 「削減の道筋が描けない場合、事業実施を再検討する」ことが求められている。どのようにすすめられるか。

答 生活経済部長 最近の火力発電所では、熱効率の高い発電所への再開発、バイオマス専焼発電設備の開発など、事業者全体として対応を計っており、今後提出される環境影響評価書を確認する。

Q&Aその後どうなった?

そういえばあの答弁どうなったのかな

児童クラブ受入れ増

問 対象学年の拡大により待機児童が出ると予測されるが、拡充についてどのように考えているか。

答 受け入れ児童数の拡大に対応するために、運営体制の充実や施設整備を図るため、教育委員会との連携を含め計画的に実施をしていきたいと考えている。
(平成29年3月議会)

実施実績

武豊児童クラブ施設整備により受入れ児童数増員
・定員65人を15人増員し80人へ
・平成29年10月1日より運用

■児童クラブの活動風景

一時的保育の拡充

問 現状の一時的保育制度をもっと充実する必要があると思うが対策は。

答 育児のサポートは、一時的保育を始めとする子育て支援センター・ファミリーサポートセンターなど複数のサービスで一体的に取り組んでいる。
(平成29年6月議会)

実施実績

・私的理由保育利用日数が1か月1日から2日以内へ拡充
・利用開始時間が8時半から8時へ拡充(ただし私的理由保育は従来通り)
・平成29年9月1日より運用